

首都圏料金に関する最近の動き

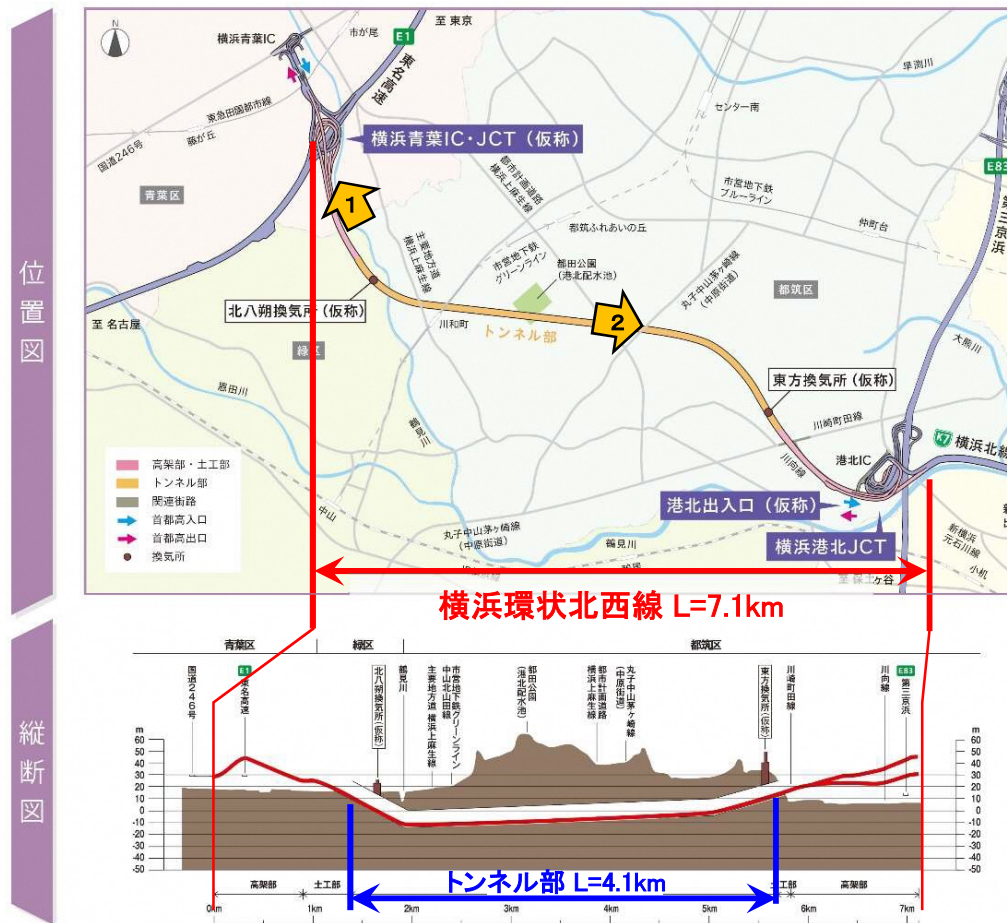
- ・横浜環状北西線の開通時期と開通後の料金案
- ・都市高速道路におけるETC専用入口

横浜環状北西線の 開通時期と開通後の料金案

横浜環状北西線の概要

- 横浜環状北西線は東名高速と第三京浜を直結する路線。
- 開通により、横浜市北西部と横浜都心・湾岸エリアとの連絡強化等が図られる。
- 現在はトンネル内装工や、舗装工等を実施中。2020年春に開通予定。

■横浜環状北西線の概要



1 横浜青葉IC・JCT(仮称)
(上部工架設完了)



2 トンネル部
(舗装工等を実施中)



■期待される効果例

- 東名高速と横浜港の所要時間が短縮

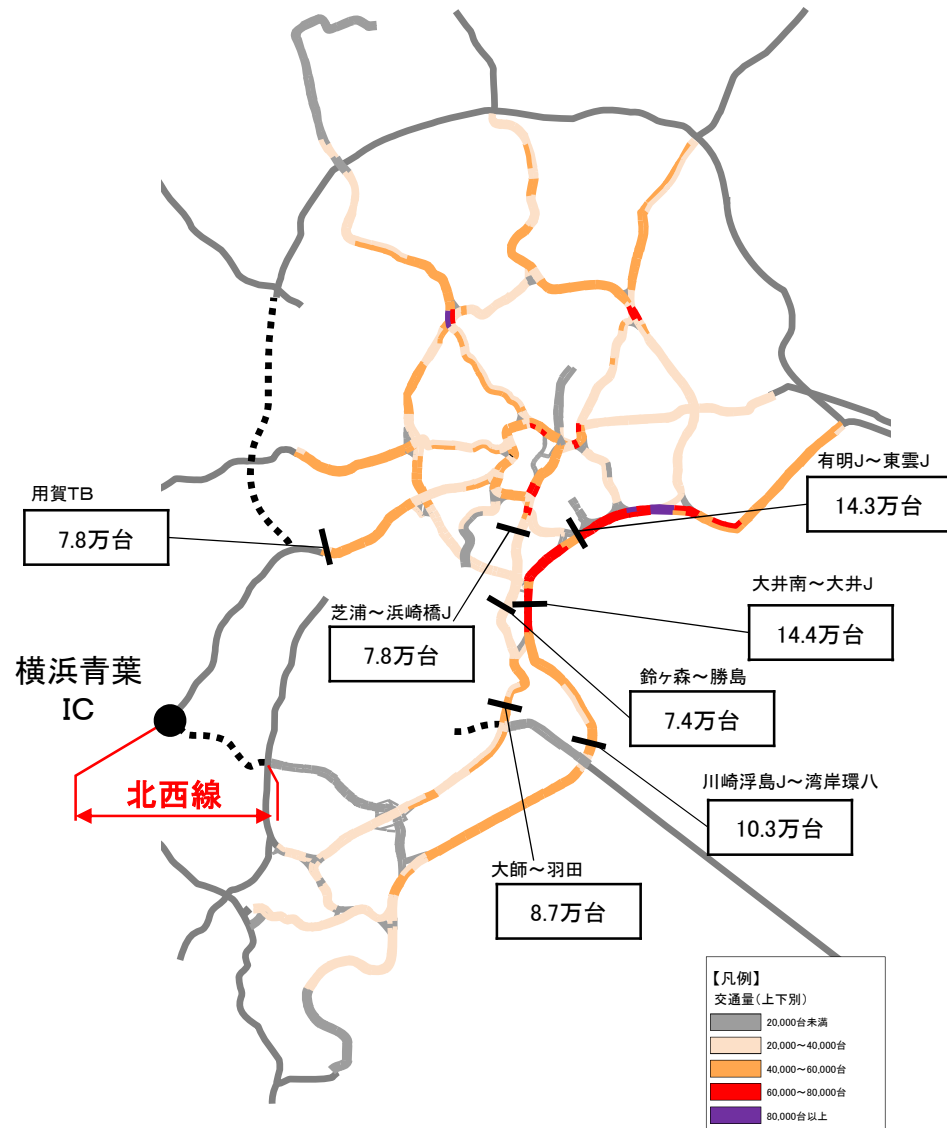


注1 速度は60km/hとしています。

注2 所要時間は実測です。測定ルートは保土ヶ谷バイパス～E3狩場線～E7湾岸線を利用しています。

現在の首都高速の交通状況と料金体系

■首都高速の交通量



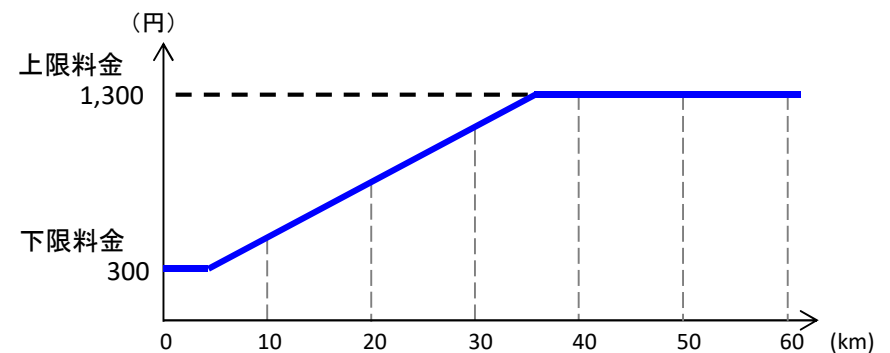
出典：首都高速道路車両感知器(2018年7月平日平均)

■首都高速の現行料金

●首都高速の車種別料金(ETC)

	下限	上限
軽自動車等	270円	1,070円
普通車	300円	1,300円
中型車	310円	1,380円
大型車	390円	2,040円
特大車	460円	2,600円

●普通車(ETC車)の場合



※現金車は原則として距離によらず1,300円

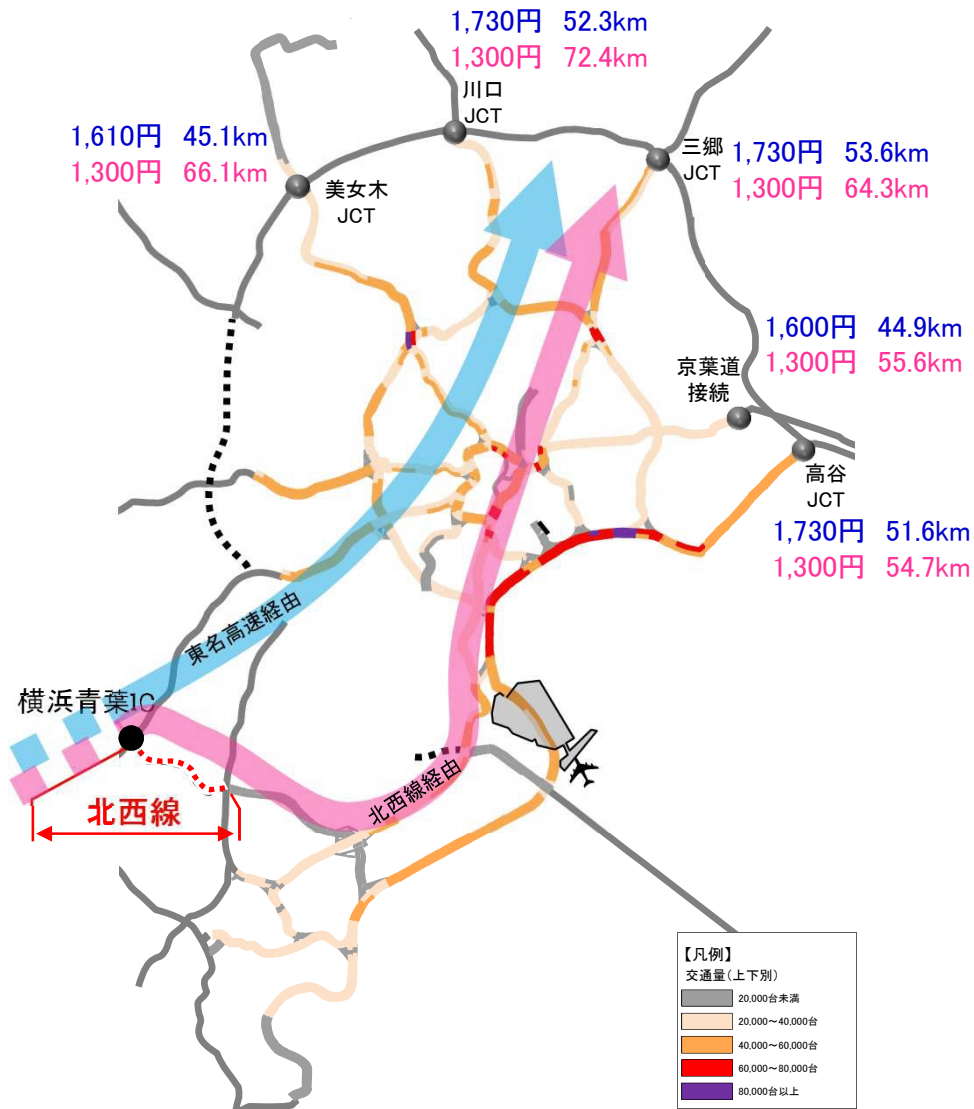
横浜環状北西線の開通に伴う課題

＜横浜青葉ICからのETC普通車料金＞

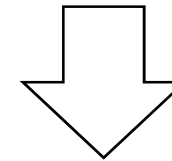
(東名高速の横浜青葉ICまでの料金(ターミナルチャージ含む)を除く)

上段: 東名経由の料金・距離

下段: 北西線経由の料金・距離

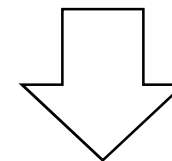


○東名高速を経由して東京や埼玉方面に向かう最短経路(→)よりも、首都高速の北西線及び横羽線を経由して同方面に向かう距離の長いルート(→)の方が料金が割安



○北西線を迂回利用する交通の増加により、渋滞や環境への影響が懸念

- ・羽田空港周辺区間の渋滞への影響
- ・川崎市南部の沿道環境への影響
- ・横浜エリアの交通の増加 等



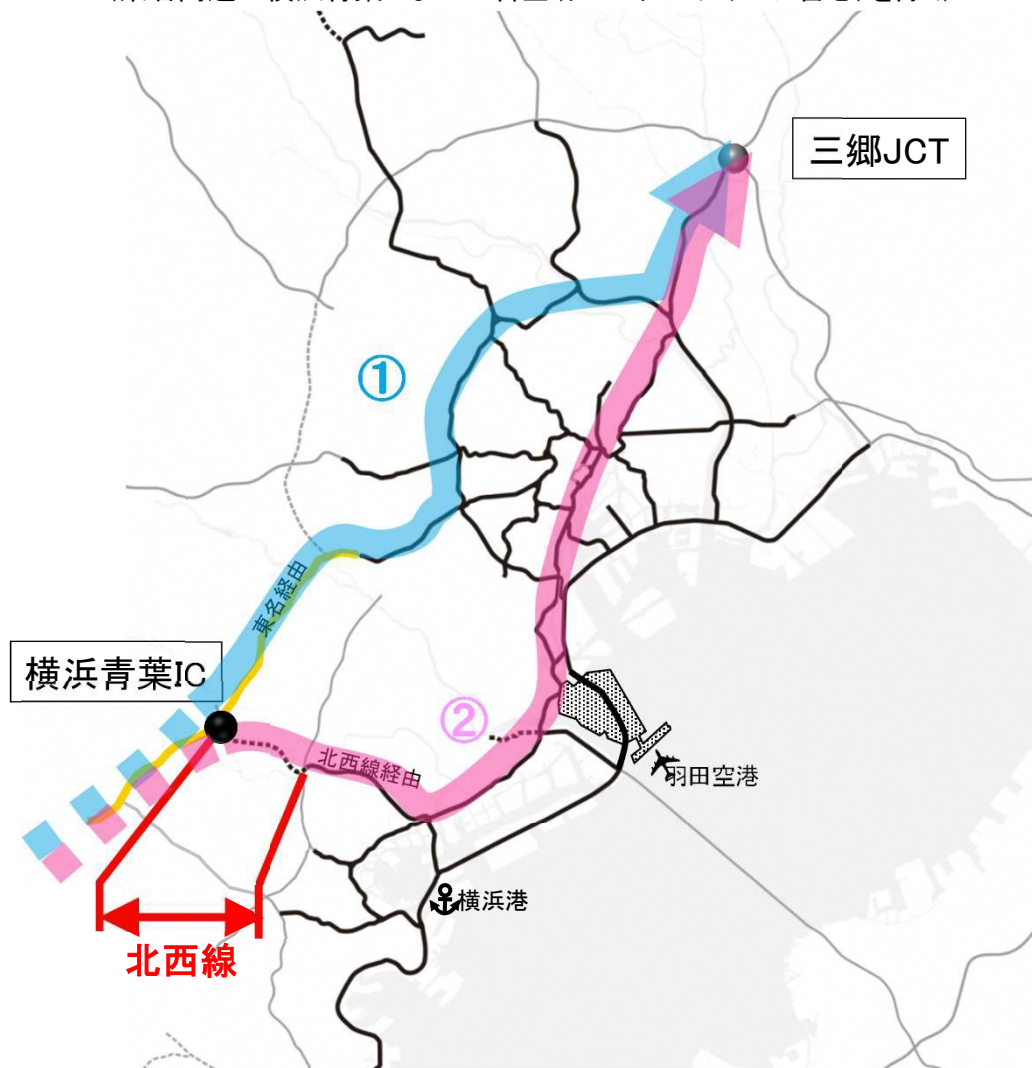
○迂回交通を抑制するため、東名高速と北西線を連続利用する交通に対して、料金の調整を行う

横浜環状北西線開通後の料金の方針(案)

○東名高速と北西線を連続利用する交通の上限料金を1,800円(普通車)に調整。
(東名高速と北西線を連続利用しない交通の上限料金は現行から変更なし。)

(例)横浜青葉ICから三郷JCTまでの普通車料金

(東名高速の横浜青葉ICまでの料金(ターミナルチャージ含む)を除く)



①東名・中央環状線経由
1,750円(56.2km)

東名高速 430円(13.3km)
首都高速 1,320円(42.9km)
(現行料金から変更なし)

②北西線経由
＜東名高速と北西線の連続利用＞
1,320円(64.3km)
↓料金調整
1,800円(64.3km)
(ETC車・現金車共通)

※消費税率10%を想定した料金

<凡例>

— 首都高
— NEXCO(東名高速以外)
— 東名高速

横浜環状北西線開通後の料金の方針(案)

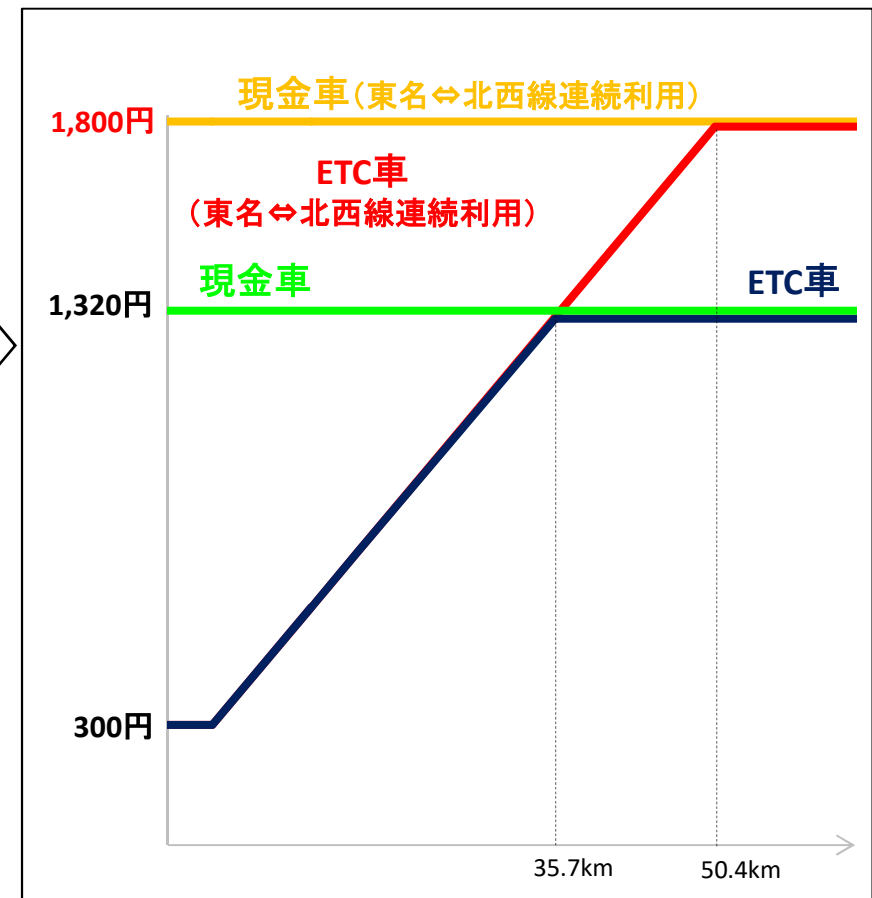
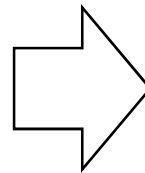
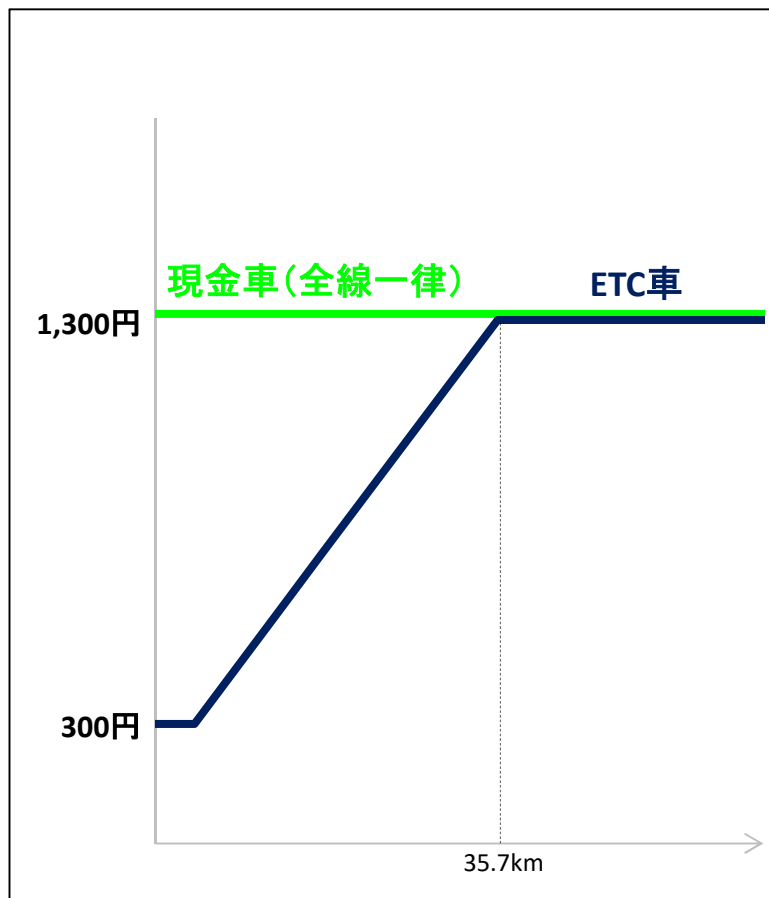
■現行料金制度 ※消費税率8%

■北西線開通後 ※消費税率10%想定

※普通車料金

ETC車	・上限1,300円
現金車	・全線一律1,300円

ETC車	・上限1,320円	東名⇄北西線連続利用 ・上限1,800円
現金車	・一律1,320円	・一律1,800円

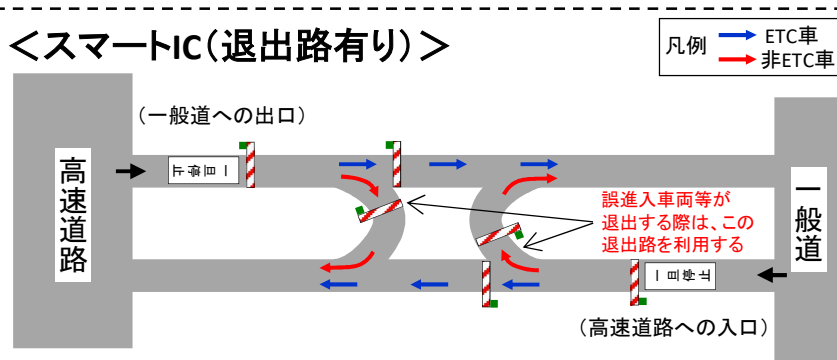


都市高速道路におけるETC専用入口

都市高速道路におけるETC専用入口について

- これまでのスマートICと同様に、都市高速道路においても今後追加される入口を対象に、ETC専用として運用することを個別に検討。
- その際、構造上や用地上の制約が無い場合には、スマートICと同様に、退出路を設置して誤進入した現金車の円滑な退出を促す。

＜スマートIC(退出路有り)＞



＜退出路の設置が不可能な場合＞

- ・レーンは全てETC専用
- ・ブース内は無人
(ETCカードトラブル等に対応する最低限の係員を配置)
- ・非ETC車が誤まって進入した場合は係員が対応
(料金の請求書等を渡したうえで、通行は許容)
- ・ETC専用入口であることを十分に周知
(HP、標識、路面標示等)

今年度開通予定の首都高速横浜北線 馬場入口をETC専用入口として運用予定※



※運用に向け、関係機関と手続き・協議を進めていく

横浜北線は2017年3月に開通済。
馬場出入口は今年度開通予定。

首都高速道路株式会社によるETC普及促進策

○首都高速道路株式会社においてETCキャンペーンを実施。

(参考：<http://www.shutoko.jp/ss/etc2portal/index.html>)

<キャンペーン内容>

助成地域内のキャンペーン取扱店において、ETCまたはETC2.0の車載器購入価格（セットアップ費用を含む）から助成金額を割引きます。

- ・助成金額：10,000円/台※1
- ・助成台数：先着100,000台
- ・助成地域：東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県
- ・対 象 者：車載器未設置の四輪または二輪車に、新規に車載器を購入・セットアップ・取付を行う方で、申込時および後日実施するアンケートにご協力いただける方
- ・期 間：2019年10月1日（火）～2020年3月31日（火）

※1：2019年10月1日（火）～2019年12月31日（火）の間にキャンペーンをお申込みされた方のうち、先着50,000台に、追加で5,000円分（ETC）または10,000円分（ETC2.0）の金券をプレゼントいたします。